

令和7年度 学校関係者評価委員会 評価結果

日 時：令和8年3月18日(水) 11:00～12:00

出席者：委 員

教育に関する有識者1名、看護管理者1名、卒業生1名、保護者1名  
地域企業代表者2名

学校職員

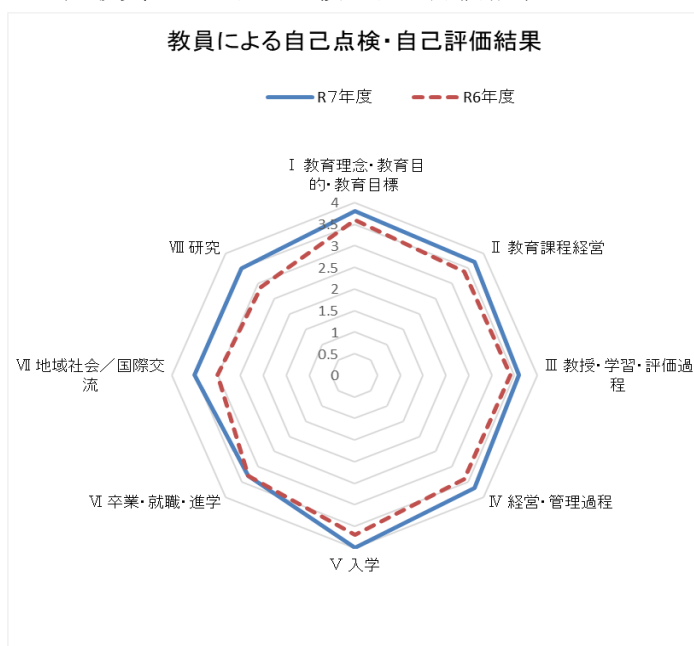
学校長、副学校長、教育主事2名、事務長、実習調整者

議 題：1) 令和7年度 学校評価結果説明

2) 意見交換

1. 学校評価結果

1) 教員による自己点検・自己評価結果



2) 学生による授業評価

質問項目	令和7年度評価 (4点満点) n=186			
	1年生 n=73	2年生 n=49	3年生 n=64	平均点
1. 教育方針・教育理念は、明確に示されている。	3.3	3.1	3.4	3.3
2. 基礎分野の教育内容に満足している。	3.3	3.0	3.3	3.2
3. 専門基礎分野の教育内容に満足している	3.4	3.1	3.3	3.3
4. 専門分野の教育内容に満足している	3.3	3.0	3.3	3.2
5. 実習の教育内容に満足している	3.4	2.9	3.2	3.1
6. わかりやすい授業が多い	2.8	2.7	3.1	2.9
7. 専門的な知識が身につく	3.3	3.1	3.4	3.3
8. 専門的な技術が身につく	3.3	3.1	3.2	3.2
9. シラバスと実際の授業に内容は概ね一致している	3.3	3.1	3.4	3.3
10. 学習するための教材及び図書は十分である	3.2	3.1	3.3	3.2
11. 個別指導、進路相談など学生をサポートする体制が整っている	3.1	2.7	3.3	3.0
12. 健康管理体制に満足している	3.2	2.8	3.2	3.1
13. 課外活動に満足している	3.1	2.8	3.1	3.0
14. カリキュラムに対して評価する機会が与えられている	3.3	3.2	3.5	3.3
15. 学校職員は、学生の関心事に耳を傾け、近づきやすい	3.2	2.9	3.4	3.2
16. 全体的にみて、本校で学んだことに満足している	3.2	2.8	3.3	3.1
平均点	3.2	3.0	3.3	3.2

## 2. 学校関係者評価委員による評価結果

- 1) 学生による授業評価（講義・実習）は各科目終了後にホームルームで回答の時間をとり回答方法も Forms を利用するなど回答しやすい工夫ができています。
- 2) 3校合同講義は学校の特徴（メリット）の1つだがホームページ上わかりにくい。トップ画面に掲載するなど全面に打ち出す必要がある。
- 3) 実習でのヒヤリハットは、実習中も該当学生の承諾を得てクラスで共有している。またヒヤリハット事例をとりあげ、グループワークで原因分析及び対応策を検討する、実習指導者会議で報告するなど、学生の安全性が重視されている。
- 4) 学生とのコミュニケーションについては、まず教員から挨拶をすることを心掛け効果が見られている。また気になる学生については教員から声をかけるなど考慮している。
- 5) 看護技術経験項目については、看護師国家試験での出題および実習での経験と正答率を考えると、臨床でより多くの経験をすることが重要である。各病棟担当教員と実習指導者にとの連携や年度初めの実習指導者会議での検討する必要がある。
- 6) 学校運営に関して、丁寧に取り組まれていることがわかる。今後も学校の強みをいかして取り組んでほしい。

## 3. 今後の取り組み

- 1) 3校合同講義が学校の特徴であることが HP でわかるようにトップ画面に掲載するなどの工夫をする。
- 2) 実習でのヒヤリハットは、学生による事例分析を継続するとともに、実習指導者会議で発生状況の報告とともに、実習前・後の取り組みについても報告する。
- 3) 学生とのコミュニケーションについては、現在の取り組みの継続とともに、学生を待たせない工夫を検討する。
- 4) 看護技術経験項目について、各病棟担当教員が実習指導者に相談する、年度初めの実習指導者会議で検討する。